

厚生労働大臣 加藤 勝信 様

ギャンブル等依存症の集団療法プログラムに  
対する診療報酬化について（要望）

現在、中央社会保険医療協議会において、平成 28 - 30 年度 AMED「ギャンブル障がいの疫学調査、生物学的評価、医療・福祉・社会的支援の在り方についての研究」で開発されたギャンブル等依存症に対する集団療法プログラムの効果が報告され、その治療法に係る評価について、審議が行われている。

については、ギャンブル等依存症に対応できる医療機関の増加や適切な治療を広げるため、令和 2 年度の診療報酬改定において、ギャンブル等依存症の集団療法プログラムに対する診療報酬上の適正な評価をなされたい。

令和元年 12 月 24 日

大阪府知事 吉村 洋文